

# 令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	新和地区体育文化交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字種市字木幡387番地
指定管理者名	新和地区町会連合会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>新型コロナウイルス感染症の対策を徹底したうえで2件実施した。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>ゴミ拾いや花壇に花を植えるなど景観美化に努めているほか、体育室で使用する道具の補修など、設備の整備に努めている。 また、玄関への手指消毒用アルコールの設置、検温の実施、利用団体代表者に対する利用者の連絡先把握の声掛け、換気の実施等、新型コロナウイルス感染症対策に努めた。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>アンケート調査により利用者からの意見、希望を施設管理、運営に反映できないか検討している。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和4年度の利用許可件数は622件、利用者数は10,856人となっており、前年度と比較すると、件数、利用者数ともに増加した。（参考：令和3年度 利用許可件数457件、利用者数8,113人）</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>

## 7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

## 8 成果指標の達成度

利用件数・・・目標件数492件に対し、利用件数が622件のため、達成度は126.4%  
利用者数・・・目標利用者数12,296人に対し、利用者数が10,856人のため、達成度は88.3%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	大きな問題は無かった。	共用利用者の増加を目指したい。
施設の管理	B	老朽化している箇所が多々あるが、問題が発生する箇所は早めに発見出来た。	大きな破損箇所だけでなく、細かい所もチェックしていく。
経理の状況	B	大きな問題は無かった。	特記事項無し。
団体の財務状況	B	特記事項無し。	特記事項無し。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	アンケート実施により、利用者の意見、要望の把握に努めた。また、自主事業を実施し、施設の周知、利用者増加を図った。新型コロナウイルス感染症対策も継続して実施した。	今後も基本的なサービス向上を図るためのアンケートの実施、利用者増加を図るための魅力的な自主事業の実施に期待する。
施設の管理	A	ゴミ拾いや花壇に花を植えるなど景観美化に努めているほか、体育室で使用する道具の補修など、設備の整備に努めている。	今後も利用者の安全のため、設備の保守、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

### ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する